

中毒について

中毒とは、ある毒物、毒素が体に入る、又は接触することで、正常な体の機能が妨げられて現れる症状のことです。

中毒を起こす主なもの

食品 たまねぎ・長ねぎ・ニラ・にんにく・チョコレート・キシリトール入りの製品（ガム等）・コーラ・アルコール飲料・ぶどう・レーズン・アボカドなど

植物 トリカブト・ツツジ・ポインセチア・アサガオの種・タバコの葉・梅の種など

動物 ヒキガエル・ハチ・毒ヘビなど

薬品 医薬品・殺虫剤・除草剤・殺鼠剤・ホウ酸だんごなど

その他・身の回りのもの 貴金属・鉛・たばこ・化粧品・灯油・ガソリン・洗剤・不凍液（アイスノンの中身）など



代表的な中毒症状

たまねぎ中毒

たまねぎ等のネギ類には、アリルプロピル・ジスルファイド（玉ネギを切った時に涙を出させる成分）という、動物にとって有害な成分が含まれており、血液中の赤血球を変性・破壊し、貧血や血尿（血色素尿）を起こし、最悪の場合、死に至ることもある怖い病気です。犬の体重1kg当たり致死量は、15~20gとされています。また、煮ても焼いても毒性は変わらず、煮汁でも中毒を起こすので注意が必要です。

症状：食欲不振・ふらつき・溶血性貧血、赤色尿、嘔吐、下痢、黄疸

チョコレート中毒

チョコレートの中には、動物にとって有害物質であるテオブロミンという成分が入っています。テオブロミンは、大脳興奮作用や呼吸興奮作用があり、中でも心臓亢進作用は非常に強く、チョコレートやカカオ豆には含有率が高いので特に注意が必要です。犬の体重1kg当たり致死量は、250~500mgとされていて、チョコレートで20~30gに相当します。

症状：嘔吐や下痢、多量な排尿、過敏、高体温、運動失調、興奮、発熱、ケイレンなどの発作、血尿、脱水

植物中毒 嘔吐・下痢・ケイレン・よだれなど

薬品中毒 農薬：嘔吐・呼吸困難・ケイレン・縮瞳など

殺虫剤：急性胃腸炎・ふらつき・血便・血尿・ケイレンなど

除草剤：嘔吐・下痢・運動失調・ケイレン・腎不全など

殺鼠剤：様々な部位の出血（鼻血、吐血、血便、血尿）・貧血など

ご自宅での注意点

大切な家族を中毒から守るためにも、食べてはいけない物は、届く所には置かないようにして下さい。お留守番のときやお散歩のときも目を離さないように心がけてください。

もし万が一、食べてしまったり、食べたかもしれない場合は、すぐにご連絡下さい。

